

# バリアフリーに関する意向調査

## 1. 高齢者・身体障害者アンケート調査

### (1) 調査概要

市内に住む高齢者及び身体障害者の方を対象に、外出に対する状況やJR三原駅周辺地区の利用状況、公共交通機関の利用の実態等についてアンケート方式により調査を行いました。

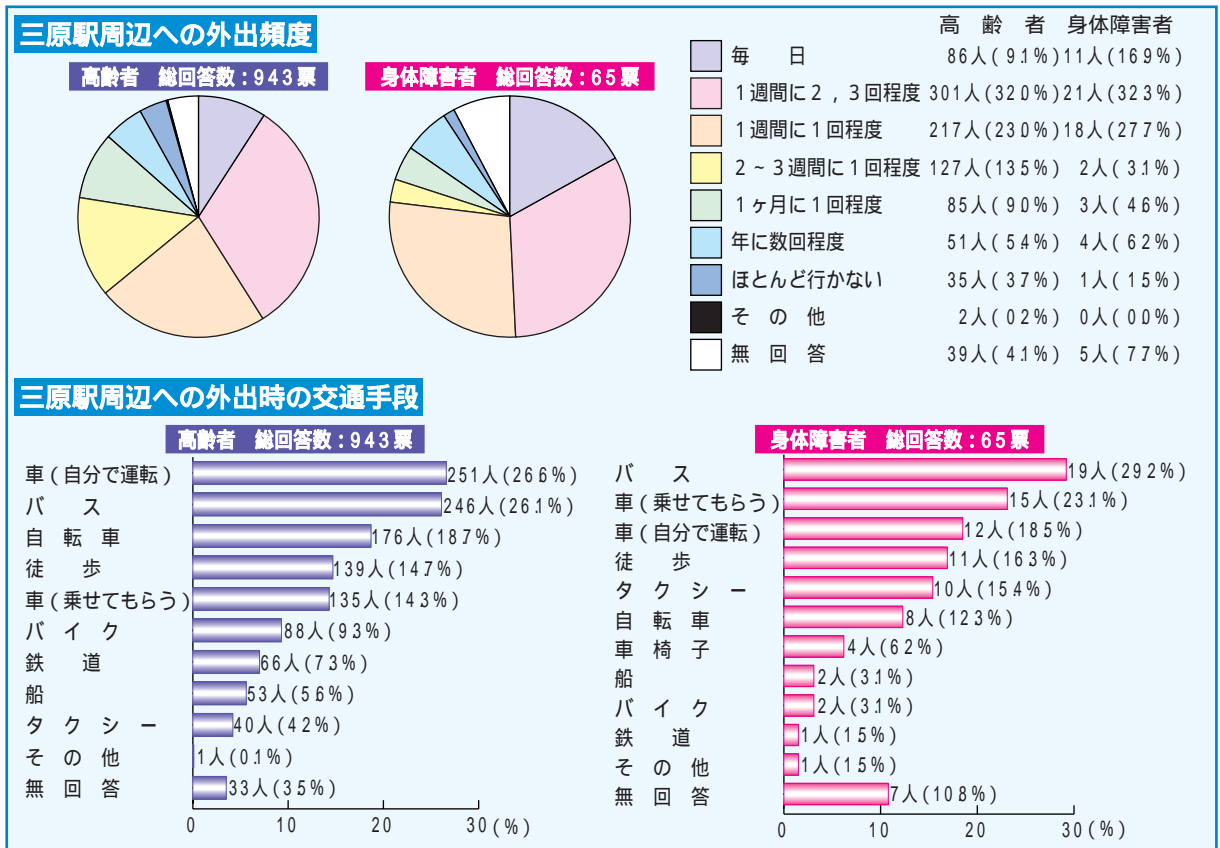
	配布数	有効回答数	回収率	備 考
高 齢 者	1,482 票	943 票	63.6%	市内の老人クラブを通じて実施
身体障害者	181 票	65 票	35.9%	各種障害者団体、三原市社会福祉協議会及びサン・シープラザを通じて実施

### (2) アンケート結果の概要

#### 三原駅周辺への外出状況

高齢者では約65%の方が、また身体障害者では約75%の方が、週に1回以上三原駅周辺に外出していることがうかがえました。

一方、三原駅周辺への外出時の交通手段としては、高齢者及び身体障害者の方とも、自動車（自分で運転・他の人に乗せてもらう）やバスとの意見が多くありました。また、身体障害者の方では、タクシーを利用しているとの意見も多くありまし



### 三原駅周辺でよく利用する施設

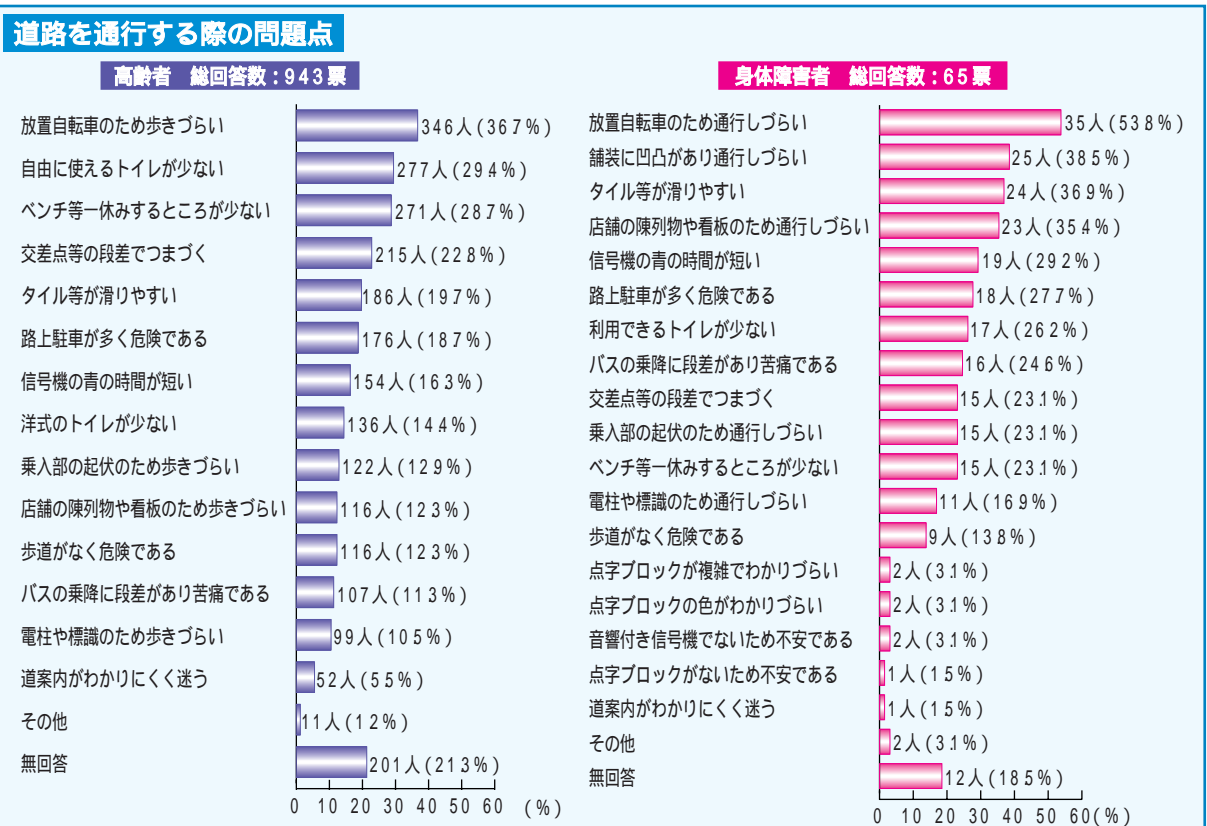
高齢者及び身体障害者の方ともに、商業施設や病院などを利用するとの意見が多く、買い物や通院のために、三原駅周辺に外出していることがうかがえました。また、身体障害者では、サン・シープラザのあるペアシティ西館を利用しているとの意見が76.9%と非常に多くありました。

### 三原駅周辺でよく利用する施設

高齢者 総回答数943票			身体障害者 総回答数65票		
ペアシティ西館	352人	37.3%	ペアシティ西館	50人	76.9%
大型ショッピングセンター	339人	35.9%	大型ショッピングセンター	28人	43.1%
病院	330人	35.0%	病院	24人	36.9%
ペアシティ東館	305人	32.3%	ペアシティ東館	20人	30.8%
商店街	162人	17.2%	バスターミナル	16人	24.6%
JR三原駅	153人	16.2%	リージョンプラザ	15人	23.1%
リージョンプラザ	148人	15.7%	JR三原駅	13人	20.0%
中央公民館	122人	12.9%	市役所	12人	18.5%
老人大学	115人	12.2%	三原郵便局	11人	16.9%
バスターミナル	112人	11.9%	中央公民館	8人	12.3%
三原郵便局	108人	11.5%	福祉会館	7人	10.8%
市役所	102人	10.8%			

### 道路を通行する際の問題点

高齢者及び身体障害者の方ともに、放置自転車のため通行しづらいとの意見が最も多くありました。また、段差や凹凸、勾配、すべりやすい舗装といった歩道の構造上の問題点や、一休みするところや利用できるトイレが少ないといった意見も多くありました。



### JR三原駅への改善要望

高齢者及び身体障害者の方ともに、エレベータや下りのエスカレータを設置してほしいとの意見が多くありました。

## 2 . 意見交換会

### (1) 意見交換会の概要

幅広い市民の方と意見交換を行うことで、実際にJR三原駅やその周辺の道路などを利用する立場での問題点や改善要望などを把握することを目的とし、市内の障害者団体や地元町内会、商業者団体等と意見交換会を実施しました。

対 象 団 体	実 施 団 体	
障 害 者 団 体	三原市手をつなぐ育成会 三原市肢体障害者福祉協会 三原市視覚障害者福祉協会	三原難病等友の会 三原ろうあ協会
ボランティア団体	三原ボランティアグループ連絡協議会	
地 元 町 内 会	関係町内会（城町、港町、本町、館町、東町、円一町）	
商 業 者 団 体	三原商栄会連合会	
そ の 他	三原母親クラブ 三原駅前を考える若手有志の会	広島聖光学園

### 【 意見交換会の状況 】



## (2) 主な意見

J R三原駅にエレベータや下りのエスカレータを設置してほしい。

階段が立体的に見えるように明るい色の滑り止めを設置してほしい。

旅客施設には音声案内装置を設置してほしい。

バスが乗降場所から離れて停車すると乗り降りしづらい。

現在運行しているバスは段差が大きく乗り降りが大変なため、低床バスを導入してほしい。

交差点では段差の解消とともに、手前の擦り付け部分についても緩やかな勾配に改修してほしい。

舗装材（タイル）や視覚障害者誘導用ブロックは、滑りにくい材質のものに改修してほしい。

視覚障害者誘導用ブロックや階段の滑り止めは、周囲と対比した明るい色のものに改修してほしい。

放置自転車や沿道店舗の看板等、通行の支障となるものを撤去してほしい。

歩道への駐輪を禁止するだけでなく、自転車利用者の利便性を考慮し、植樹帯部分等を活用した駐輪スペースの設置を検討してほしい。

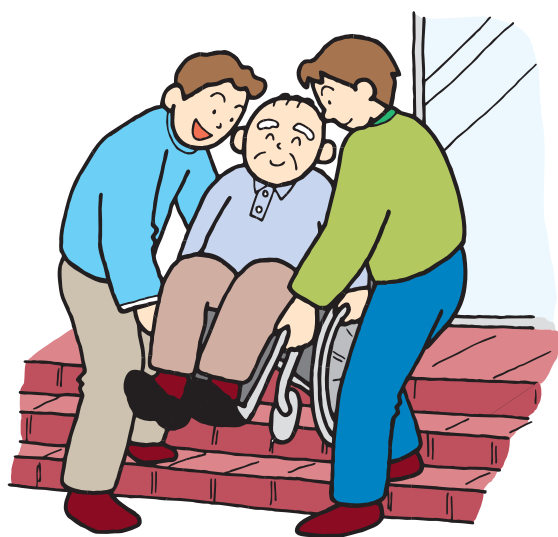
信号機の青の時間が短いために、時間内に横断歩道を渡れないことがあり、危険である。

主要な交差点は、音響付き信号機に改修してほしい。

身体障害者用トイレの整備とともに、一般のトイレにも洋式トイレを設置してほしい。

身体障害者用トイレの位置を示したマップをつくってほしい。

いくらハード面の整備が行われても、身体障害者が外出するためには人の手助けが必要であるため、心のバリアフリーを推進してほしい。



### 3 . 街頭聞き取り調査

#### (1) 街頭聞き取り調査の概要

三原市民のみならず市外からの来訪者を含め、実際にＪＲ三原駅を利用する人の意見を聴取するため、ＪＲ三原駅周辺において街頭聞き取り調査を実施しました。

調 査 日 時	平成14年(2002年)9月18日(水)16:00~18:00
調 査 人 数	25人(市内在住:19人、市外来訪者:6人)

#### (2) 主な意見

ＪＲ三原駅は、ホームから改札への下りエスカレータがないため利用が大変である。

目的地に行くのに、どのバスに乗ればよいのかわかりづらい。

バスの段差が大きく、乗り降りが困難である。

障害者手帳を出さなければバスの割引が適用されないのは不便であり、障害者向けのチケットがあればよいと思う。

駅前広場(浮城広場)の舗装は、雨の日に滑りやすく、危険である。

休日は、駅前広場に駐輪している自転車が多く、通行しづらい。

休憩する場所が少ないため、ＪＲ三原駅の自由通路のベンチを増やしてほしい。

雨の日でもバス停のベンチを利用できるように、屋根を広くしてほしい。

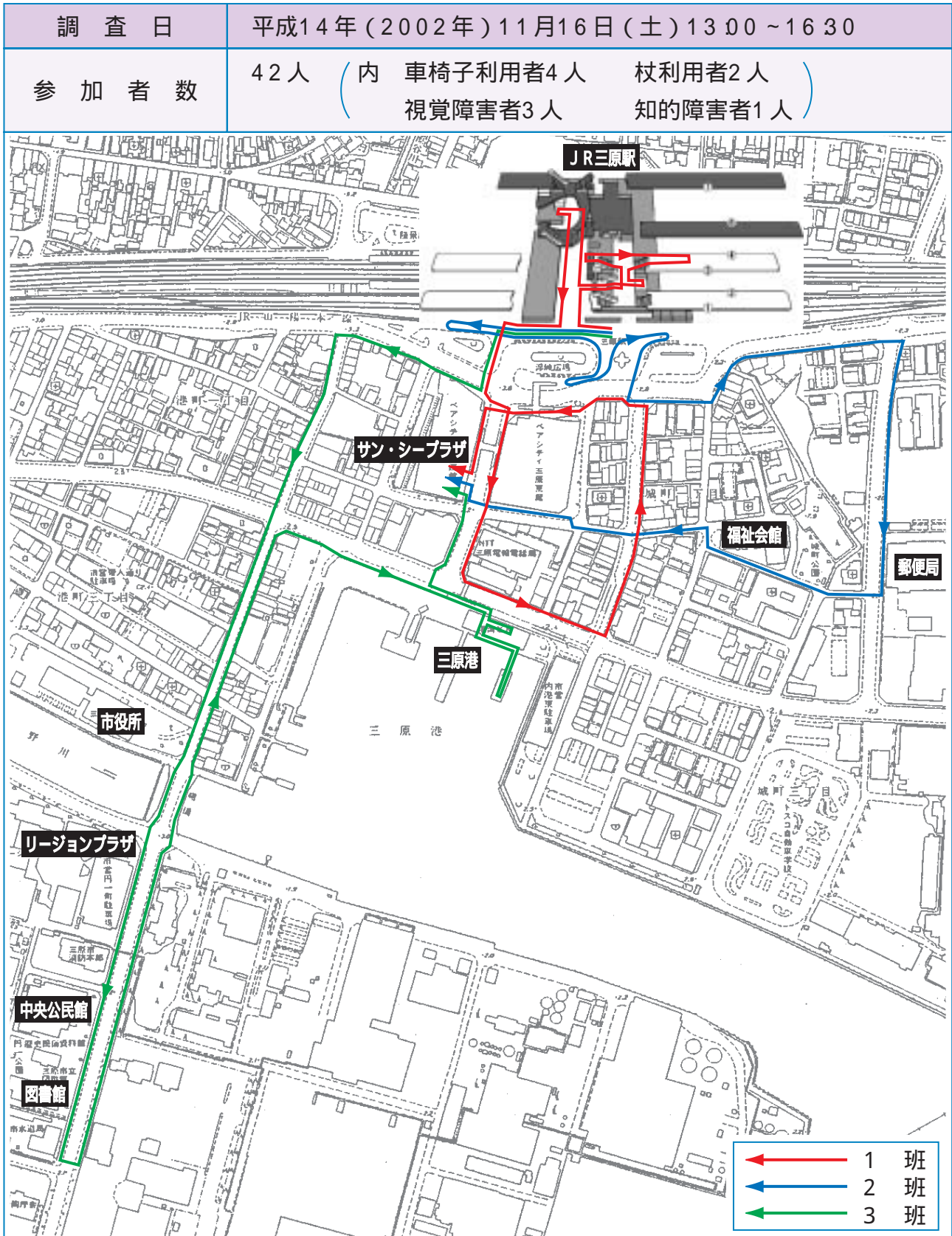


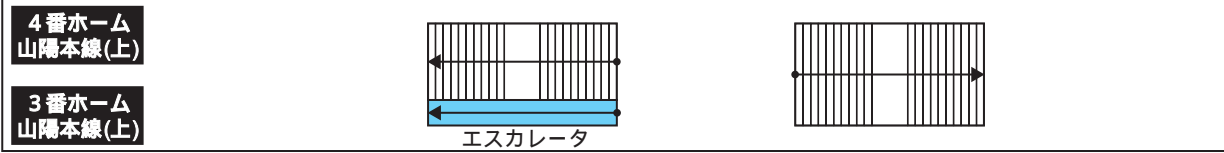


## 4 . 交通バリアフリータウンウォッチング

### (1) 交通バリアフリータウンウォッチングの概要

高齢者や身体障害者の方をはじめ、幅広い市民の参加によりJR三原駅や三原港、駅前広場、周辺道路のタウンウォッチングを実施し、バリアフリーにおける問題点の把握を行いました。





**トイレ**

- ・身体障害者用トイレはドアが自動で閉まるように傾斜がついているため、車椅子使用者が1人でドアを開けて中に入ることが困難である。
- ・トイレの出入口の段差が気になる。



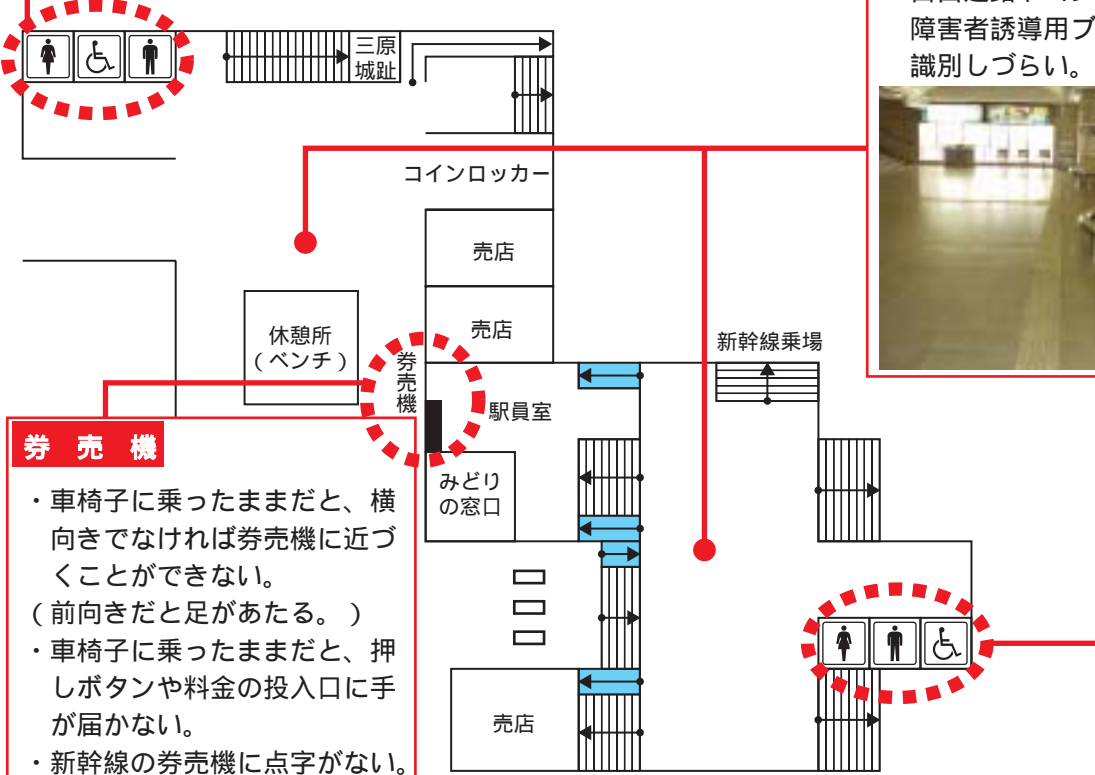
**垂直移動**

- ・車椅子をもちあげてもらって階段を下りる場合、後ろ向きに傾き、不安を感じる。
- ・高齢になると、階段は上りよりも下りの方がつらい。



**視覚障害者誘導用ブロック**

- ・自由通路やコンコースの視覚障害者誘導用ブロックの色が識別しづらい。



**券売機**

- ・車椅子に乗ったままだと、横向きでなければ券売機に近づくことができない。(前向きだと足があたる。)
- ・車椅子に乗ったままだと、押しボタンや料金の投入口に手が届かない。
- ・新幹線の券売機に点字がない。



**トイレ**

- ・身体障害者用トイレはドアが重く、車椅子使用者が1人でドアを開けることが困難である。
- ・トイレの出入口の段差が気になる。



**視覚障害者誘導用ブロック**

- ・視覚障害者誘導用ブロックの色が識別しづらい。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの一枚の幅が広いので、健常者がまたげずに滑ることがある。
- ・舗装が劣化し、亀裂や剥離している部分があり、つまずくことがある。
- ・舗装材自体も履き物によっては滑りやすい。



**自家用車送迎停車帯**

- ・車椅子で降りても、歩道に上るスロープがない。
- ・一部に切り込みがあるが、緊急車両の通行用のものであり、車椅子が上れる段差・勾配ではない。



**バス停**

- ・視覚障害者誘導用ブロックがバス停に近づきすぎており、バスを待っている乗客やベンチで休憩している人が障害になることがある。



**バス**

- ・ノンステップバスは非常に乗り降りしやすかったので、導入してほしい。





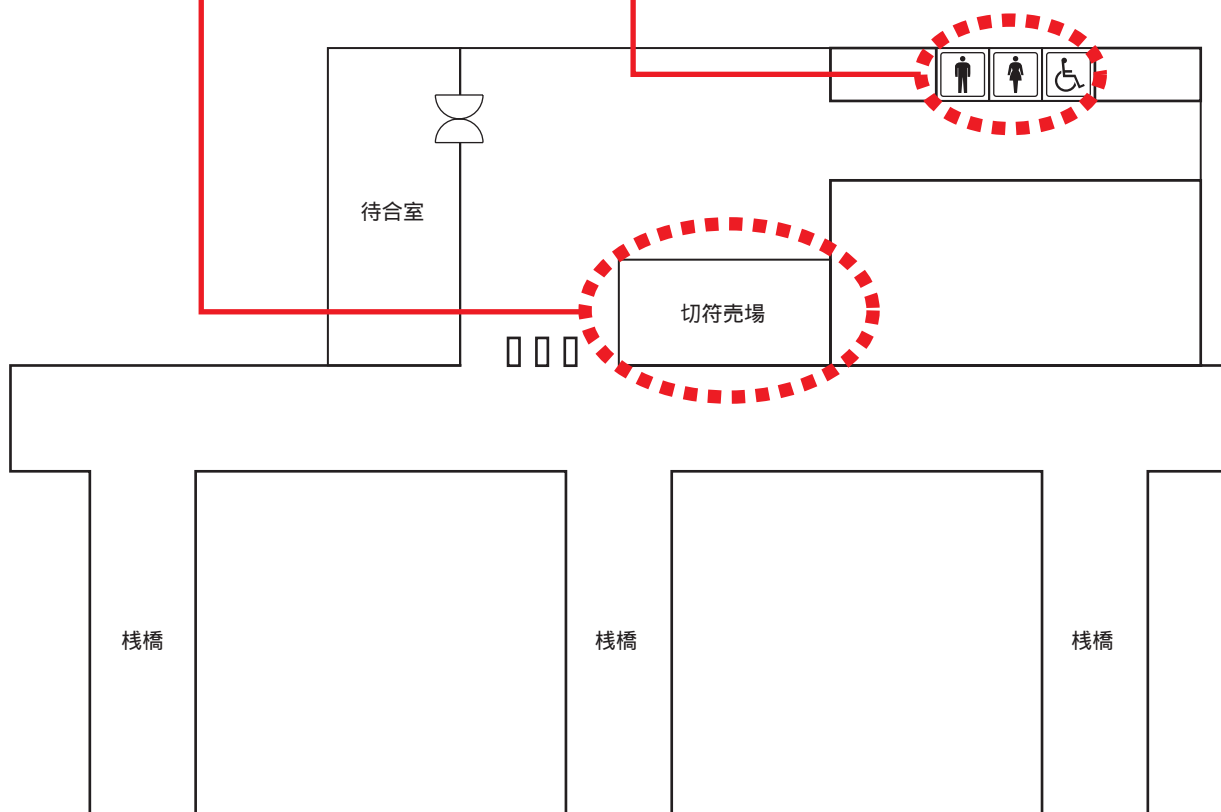
**券 売 機**

- ・車椅子に乗ったままだと、横向きでなければ券売機に近づくことができない。
- ・車椅子に乗ったままだと、押しボタンや料金の投入口に手が届かない。



**ト イ レ**

- ・身体障害者用トイレが設置されているが、手すりがじゃままで、電動車椅子は入れない。
- ・和式トイレに手すりがあればよい。



**栈 橋**

- ・栈橋は勾配が急なため、車椅子で通行するのは不安を感じる。
- ・車椅子を押すのも怖さを感じる。



**交差点**

- ・マウンドアップ型式の歩道では、交差点の擦り付け勾配が急なため、車椅子利用者は歩道を上ることができない。
- ・信号待ちの際には、なるべく手前の平坦な部分で待つようにしているが、信号の時間が短いため、渡れない場合がある。



**浮城通り**

- ・沿道の店舗の看板や放置自転車が通行の支障となっている。



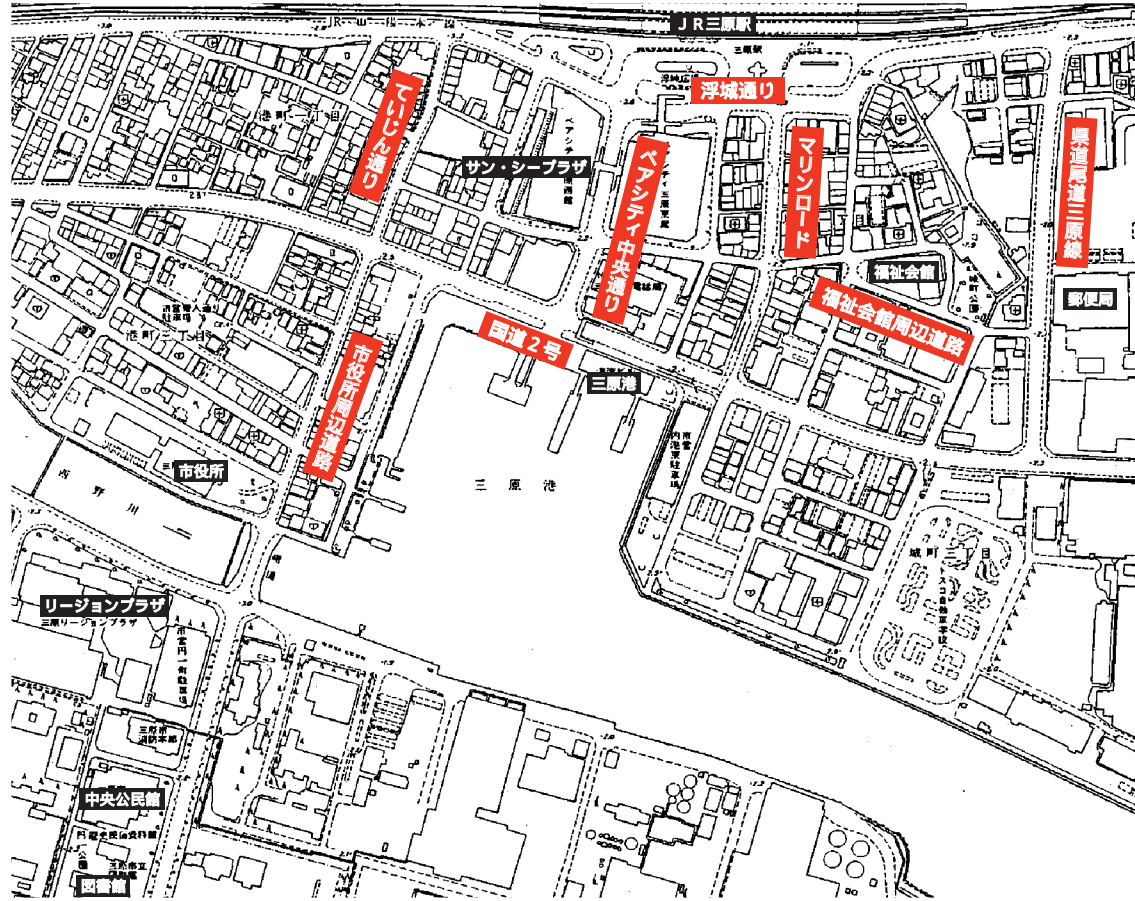
**ていじん通り**

- ・交差点では、歩車道の段差が大きく、街渠にも大きな勾配があり、通行しづらい。
- ・歩道と車道の色が類似しており、区別しづらい。
- ・車道の色が白っぽく、横断歩道のマーキングを識別しづらい。



**市役所周辺道路**

- ・視覚障害者誘導用ブロックが舗装と同一色であるため、識別できない。
- ・小さな交差点が多いため、歩道に勾配がつき、波打が生じている。



**国道2号**

- ・国道2号を横断する際、歩行者用信号の時間が短く、横断歩道を渡っている途中で信号が点滅する。
- ・横断陸橋の周辺は歩道の幅員が狭く、舗装に凹凸もあり、通行しづらい。



**ベアシティ中央通り**

- ・駅前の交差点は南北方向の信号の時間が短く、横断歩道を渡っている途中で信号が点滅する。
- ・視覚障害者誘導用ブロックが舗装と同一色であるため、識別できない。
- ・東側の歩道は横断勾配がきつく、車椅子や杖を利用したの通行が困難である。
- ・歩道に放置自転車がが多い。(特にベアシティ西館前)



**マリンロード**

- ・ボードウォーク舗装は、雨の日に滑りやすく、危険である。
- ・視覚障害者誘導用ブロックに厚みがあり、杖が引っかかる。
- ・駐車車両や放置自転車が通行の支障になっている。
- ・中央部分の信号機には、南北方向の歩行者用信号機がない。



**国道尾道三原線**

- ・車両乗り入れ部分や横断歩道の設置部分は、横断勾配がきつく、歩道の水平部分の幅が狭い。
- ・横断歩道が設置されているが、信号機がなく、交通量が多いため、渡りにくく危険である。



**福祉会館周辺道路**

- ・路側帯が50cmしかないため、車椅子は路側帯を通行できない。
- ・歩道が設置されていないため、車道を通行することになるが、交通量が多く、危険を感じる。

